



地域でボランティアとして活躍している「活動者」をリレー方式で紹介します。

今回は「こまじいのうち」で広報等を担当されている山上良一さんからバトンを引き継いだ「さきちゃんち運営委員会」代表の八木晶子さんにお話を伺いました。



### Q さきちゃんちについて教えてください。

2015年から小石川3丁目で、子どもの居場所「さきちゃんち」を開設。そこは2020年に建て替えにより移転し、0歳から2歳児と保護者の交流の場(地域子育て支援拠点)「さきちゃんちpetit」として、活動を継続しました。運営を続ける中で、子どもの居場所というだけでなく、地域には対象者を限定しない多世代型の居場所も必要だということがわかったので、「さきちゃんち」としては3番目になりますが、いろいろな人がふらりと立ち寄れる、対話できる、チャレンジできる場というコンセプトを大切に生み出したのが「ワークスペースさきちゃんち」です。「さきちゃんち」の名前の由来は、このあたりの旧町名の戸崎(とさき)町からきています。

### Q さきちゃんちに携わることになったきっかけは？

以前、広島に住んでいた時に、初めての土地で地域とのつながりがありませんでしたから、つながりを作るためにコミュニティ作りや市民活動をしていました。その後文京区に引っ越してきて、区主催の文京の未来を考える対話の場などに参加し、地域の子どものために活動したいというみなさんにつながれたことや、子どもがまちのひとたちに見守られて安心して過ごせる居場所の必要性を感じたことがきっかけです。

さきちゃんちのホームページはこちらから！



### Q さきちゃんちは10周年を迎えますが、思い出に残るエピソードはありますか？

初代「さきちゃんち」に来ていた小学生が、大きくなってスーツ姿で就職の挨拶に来てくれたことがありました。また、小学校の校庭を土日に開放する際の見守り募集に集まった学生が、みんな初代「さきちゃんち」に来てくれていた子達だったこともあります。昔遊びに来ていた子どもたちが、顔を見せに来てくれたり、巡り巡って今度は見守る側としてお手伝いをしてくれたりしたことがとても嬉しく、感慨深く感じました。

### Q 今後さきちゃんちはどのような場所になってほしいですか？

まちの人が共有する「おうち」として、子どもも大人も、あそぶ、まなぶ、くつろぐ、つくる、たべる、さまざまなワークをすることのできる場という、当初の思いを大切に運営を続けていきたいです。日々の運営に追われすぎないようにして、遊びに来てくれる人と同じ時(とき)を過ごせたらいいですね。

※次回は八木晶子さんよりバトンを引き継いだ、「ぶんたねこいしか和」で活動されている高嶋弘子さんを紹介いたします。



どっとフミコムでは、ボランティア情報やワークショップ・イベント、文京区で活動されている団体の紹介など、さまざまな地域活動の最新情報を見ることができます。気になる情報は、どっとフミコムのサイトでチェックしてみてください！



<https://d-fumi.com>

ご相談  
ください

ボランティアに関心がある方、興味を持った方、

やってみたい！ してほしい 話を聞きたい！

など、ボランティアについての質問や問合せ、ご相談を下記の地域連携ステーションボランティア担当までご連絡ください。

発行 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション <https://www.bunsyakyo.or.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター地下1階 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966

開所時間：月～金 9:00～19:00 / 土 9:00～17:00 / 日・祝 9:00～17:00 (施設利用のみ)  
休館日：12月28日～1月3日 ※毎月第4月曜日は17:00まで

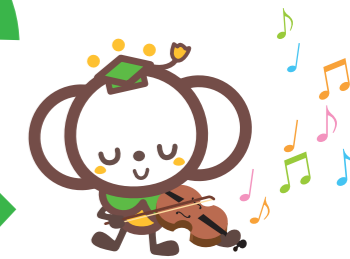
ぼらんていあニュースは、封入ボランティアの皆さんのご協力のもと、お届けしています。いつもご協力ありがとうございます。

あなたらしく。はじめる、つながる。きっかけ応援誌！

# ぼらんていあ 秋 ニュース

TAKE  
FREE

ご自由  
にお持ちください



令和7年9月発行

## TOPICS

- 1 あなたの特技・好きなことを活かしてみませんか？
- 2 ボランティア情報・イベント情報
- 3 みやはら丸がオープンしました！
- 4 バトンをつなげる～活動者の声～

## あなたの特技・好きなことを活かしませんか？

～特技ボランティアさんご紹介～

「昔から麻雀をやってるんですよ」何げない会話のその一言が、じつはボランティア活動につながるんです。「麻雀のプレイヤーを探しているのですが・・・」そんな依頼がボランティア担当に入ることがあります。ほかにも、囲碁や将棋の対局相手を求められることもあります。施設や町会イベントでは、レクリエーションや季節行事で、楽器演奏やマジック・舞踊・ダンス・合唱などの特技を披露してくださるボランティアさん、大歓迎です！「自作の手工芸品を寄贈したい」「特技の〇〇を活かしてボランティア活動したい」「△△を披露する機会がほしい」といった思いをお持ちの方は、ぜひご連絡ください。

### ゆきんこ一座

かっぱれだけでなく、オカリナ演奏・昭和のクイズ・落語・語りなど一座のメンバーには芸達者が揃っています。私たちのモットーは、観てくださるみなさんも巻き込んで「一緒に楽しむこと」お声をかけていただければどこにでも出前いたします！！



かっぱれ



オカリナ演奏



ひな祭りイベントの様子

### 篠笛演奏

篠笛で何かお役に立てることが出来たら・・・の願いが叶いボランティアデビュー、緊張しながらの演奏に会場の皆さまが笑顔で楽しんでくださり、嬉しく幸せな時間をいただきました。これからも大好きな篠笛の音色をお届けしていきたいです。

### 落語(福姫)

私は落語歴10年になります。落語をやって、お客さんに笑ってもらったときは、とても嬉しいです。落語を聞いて笑うことで、みなさんに少しでも日々のストレスを忘れていただければと思っています。



演目「時そば」の場面



地域連携ステーション ボランティア担当 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966



募集中!

## 学習支援ボランティア募集

てらまっち

児童・生徒の性格や学習進度に応じたマッチングを行い、心に寄り添いながらの学習支援

学習意欲がありながら、家庭の経済的事情で学習塾などに通えなかったり、学校に馴染めずに不登校になったりして、学びの機会を十分に得られない児童・生徒の学習を支援しています。

児童・生徒の性格や学習進度に応じたマッチングを行い、心に寄り添いながら学習を支援します。

人生経験だけでなく専門知識も備えた、多彩な講師陣がボランティアで活動しています

**授業会場** 文京区内4会場  
(本郷5、千石1、本駒込5、小日向2)

**交通費相当支給** 1,000円/2時間授業  
※小中学生を続けて4時間担当される場合は  
2,000円支給

**授業時間** 月・火・木・金 16:00~20:00  
※会場により時間が異なります。

**授業教科** 小学生：算数・国語  
中学生／高校生：数学・英語

こんな方に向いています!  
子どもが好き  
誰かの役に立ちたい  
学習支援に興味がある



問合せ・申込 一般社団法人てらまっち  
〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-11 平木ビル2階  
電話 080-9033-4376  
メール info@teramachii.com

募集中!

## 「ぶんきょう共生サポーター」メンバー募集

文京ささえ隊

区内小中学校の福祉学習(授業)を中心に、高齢者疑似体験や車いす体験等に関する機会の提供を通じて、共生社会の実現を目指し活動をしているボランティア団体です。

一緒に活動するメンバーを募集しています。

**活動日** ①主に平日昼間の学校授業の時間帯  
2時間程度(随時)  
②定例会 原則第2金曜日15時~  
※①参加者などには別途交通費を支給

**活動場所** 区内小中学校、区民センター4階活動室等

**募集人数** 若干名

**対象** 平日昼間に活動できる方 大歓迎



**費用** 年会費 1,000円

活動スキル講習(1日~1日半)の受講をお願いします(日程要相談)

問合せ・申込 ①メール sasaetai923@gmail.com ②電話 090-9368-5454 齋藤みさ



募集中!

## 音訳ボランティア講習会 ~受講者募集~

この講習会は、音訳の技術を学び、視覚障がいのある方に対する理解を深め、ボランティア活動を促進するためのボランティア養成講座です。

**講座内容** 音訳ボランティアとして活動する上で必要な知識・技術の習得  
※パソコンでの作業があります

**申込期間** 令和7年9月1日~9月22日(月)17時  
※受講の可否については、お申込みの方全員にメールにてお知らせいたします。

**開催日時** 令和7年10月3日~12月5日  
毎週金曜日(14:00~16:00) 全10回

**開催場所** 区民センター4階 ボランティア活動室A

**対象** 講習会終了後、文京区内で音訳のボランティア活動ができる方

**定員** 18名  
※申込数が定員を超えた場合は、区内在住・在勤・在学の方を優先したうえで抽選



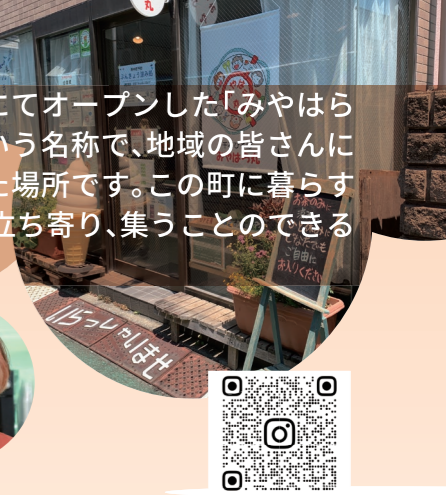
問合せ・申込 地域連携ステーション ボランティア担当 電話 03-3812-3114

# 千石ひろば みやはら丸が おーぷん 出航しました!

代表の小田巻さん、実行委員会から齋藤さんご夫妻、常連客の土屋さんにお話を伺い、「みやはら丸」の魅力に迫ります!



2025年5月11日に千石エリアにてオープンした「みやはら丸」は、以前『風のやすみば』という名称で、地域の皆さんに“心地よい風”をお届けしていた場所です。この町に暮らす子どもや大人、誰もがふらっと立ち寄り、集うことのできるひろばです。



場所: 千石4-5-2 水野ビル101

### 名前の由来は、町会名から

近隣の町会名全部ひらがなにしておいて、まとめてみると「みやはら丸」という名前が“浮かんできた”そう。語呂もいいし、ちょっと船っぽい! 船は『風』を受けて出港することも、この名前になった理由の一つとお聞きしました。

### ロゴに込めた思い

「みやはら丸」のロゴは、船に設置されている救命浮輪のイメージです。浮輪の中に『老若男女』や『こども食堂』、勉強したり、絵を描いたり、いろんなことを含めてやれたらいいねってということで、全部『丸』で囲んで浮輪にしました。



### ランドマークになる?!

「みやはら丸」のある通りには、お店がほとんどありません。「ソフトクリームのオブジェ」が唯一の目印だとか。そのソフトクリームが味わえるのが、みやはら丸にあるみなとカフェ。ほかにもコーヒーやお茶、パスタ(市販品)、駄菓子などの軽食もご用意。常連客の土屋さんは「こないだ、初めてパスタを食べました。おいしかったです。ナポリタンでしたが、とても味が良くて麺の固さもちょうど良くて」と笑顔でコメント。



常連の土屋さん

### ゆったりとした船旅のような空間になれば

介護予防体操や茶話会、フラワーアレンジメントなどの団体も利用されていますが、どなたでも気軽にふら〜っと立ち寄れるところです。「ぶんきょう涼み処」「車いすステーション」にも登録しています。猛暑のオアシス、待ち合わせ場所、シンプルに港のような休憩所としても、ぜひ一度いらしてください。

### 約1か月半で出航

10有余年、地域に親しまれてきた前身の『風のやすみば』が今年3月にクローズ。そうすると、千石エリアの地域の居場所は「氷川下つゆくさ荘」だけになってしまう。坂道の多い土地柄、高齢の方やお子さん連れの方は大変なはずだから(ここを)続けた方がいいだろうと継承することに決定! 町会長さんや民生委員OBさん、近隣の方々にご協力いただき、急ピッチでオープンに“漕ぎ着けた”そうです。

### 活用してみても、ひと箱オーナー レンタルBOX

入り口のドアを開けると、右側に棚箱が設置されています。ご自分の作品を売ったり、展示したり、箱の1区画を月500円のレンタルボックスとして使っています。無人販売と同じ仕組みです。駄菓子の販売やカフェはスタッフの誰かがいないとできません。「お手伝いの方がいてくださると、コーヒーを淹れながら、お客様との会話もゆっくりできるんですけどね。」と齋藤さん。



ボックスの空きあります

### からだと同じように、新陳代謝を

みなさんのお話から「常連さんだけでなく、学生さんや外国の方、会社員や独り暮らしの方といったさまざまな方に利用してもらいたい!」という願いが伝わってきました。「やっぱり年代を超えたつながりがないと、結果的には行き詰まるのが目に見えています」と小田巻さん。常連さんを大切にしつつ、何気なく立ち寄った方との出会いから、さらなるご縁が生まれる、そんな場所にしていきたいという熱いエネルギーを感じました。